

社会保障審議会介護給付費分科会
介護サービスの把握のためのワーキングチームにおける事業者等団体ヒアリング資料

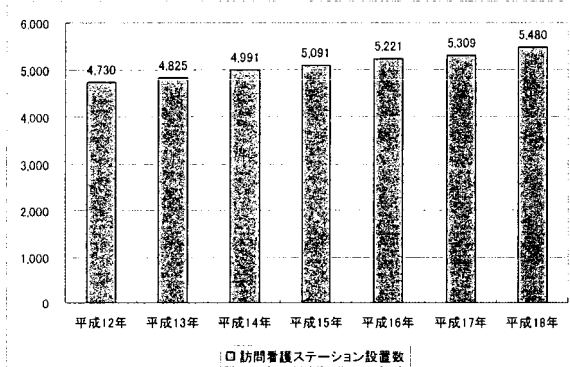
訪問看護ステーションの 現状と今後の展望について

平成19年11月13日

社団法人 全国訪問看護事業協会

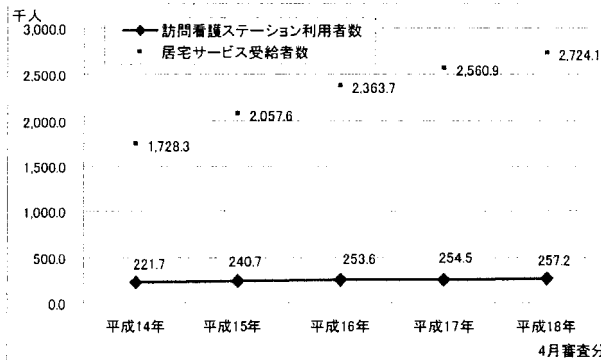
訪問看護ステーションの概況

訪問看護ステーション数の推移



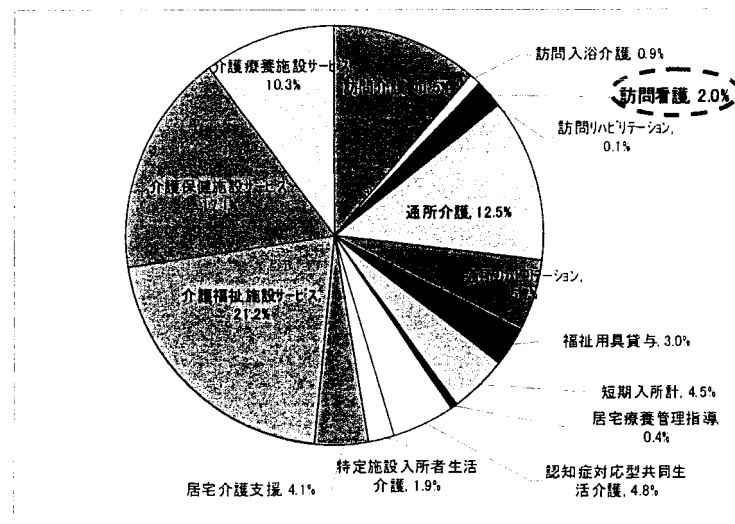
出典：厚生労働省介護サービス・施設事業所調査

訪問看護利用者数の推移



出典：厚生労働省介護給付費実態調査(各年4月審査分)

介護保険費用額に占める訪問看護の割合



出典：厚生労働省介護給付費実態調査より(平成17年度分)

- 訪問看護ステーション数、利用者数(介護保険)は、いずれも微増にとどまっている。
- 訪問看護は、介護保険費用額の2%(1270億円/年)、国民医療費の0.12%(390億円)とシェアが小さい。

○ 訪問看護ステーションの伸び悩みの要因

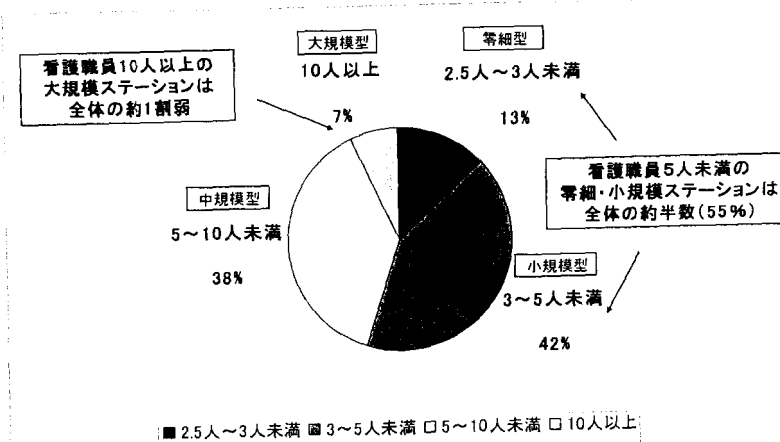
- ・訪問看護師の不足(医療機関へ転職、24時間対応の負担大、給与の低さ等)
- ・訪問看護の地域偏在(常勤換算2.5人を確保できない地域がある)
- ・訪問看護に対する適正な評価の不足(退院前訪問、長時間訪問、複数人訪問、移動コスト等)

訪問看護ステーションの利用者・従事者数

- 訪問看護ステーション設置数 [約5,480カ所^{※2}]
- 1事業所あたり看護職員数 [平均4.2人^{※1}]
- 1事業所あたり利用者数 [訪問看護 51.9人、介護予防訪問看護3.0人^{※2}]
- 常勤換算看護職員1人あたり延利用者数 [平均69.1人^{※1}]
- 1件当たりの所要時間 [平均123分(滞在時間;65分+滞在以外時間;58分)^{※3}]

^{※1} 平成17年度介護サービス施設・事業所調査 ^{※2} 平成18年度介護サービス施設・事業所調査
^{※3} 平成14年度老人保健健康増進等事業「訪問看護事業所におけるサービス提供の在り方に関する調査研究事業」

訪問看護ステーションの看護職員数(常勤換算数)



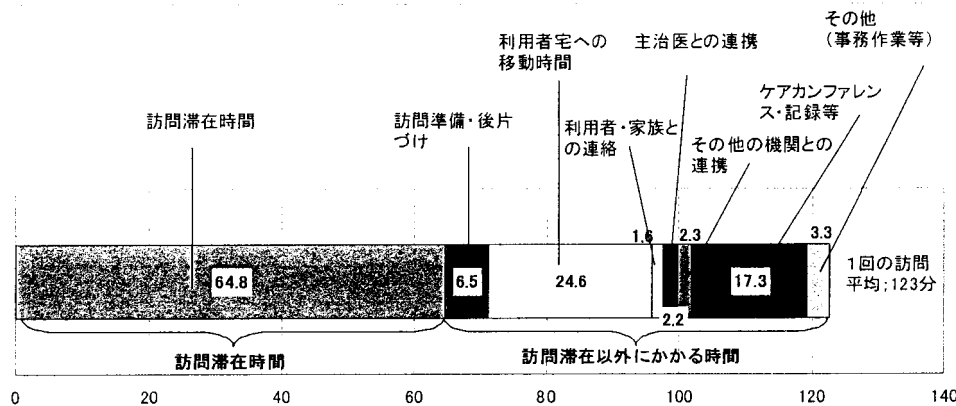
※訪問看護ステーションの類型を便宜的に以下の様に設定した。
 大規模型:看護師常勤換算で10名以上、中規模型:5~10人未満、小規模型:3~5人未満、零細型:2.5~3人未満

出典:2005(平成17)年度 訪問看護・家庭訪問基礎調査報告書 日本看護協会

- 訪問看護ステーションは、半数以上が5人未満の零細事業所。10人以上の大規模型は1割未満にとどまっている。

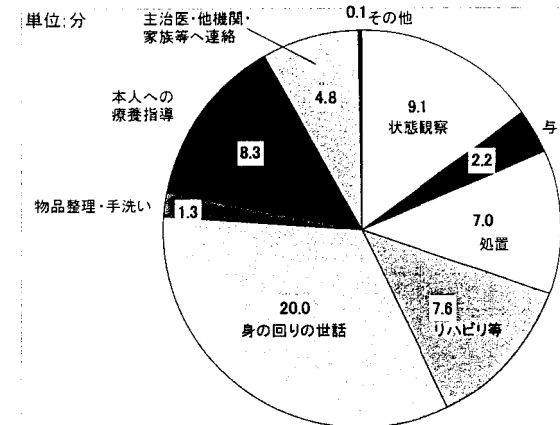
訪問看護サービスにかかる時間・内容

訪問1回にかかる訪問看護労働投入時間



N=190

訪問1回あたりの看護業務内容・時間
(下記のケアを実施していない利用者も含めた平均)



N=668

- 利用者1人あたり1ヶ月にかかる訪問看護労働投入量を調査した結果、訪問1回あたりに換算すると、利用者宅に平均65分滞在し、その他、準備・移動・記録・ケアカンファレンス等に58分かかっている。
- 利用者宅での滞在時間に対して、訪問以外の時間が同程度かかる。

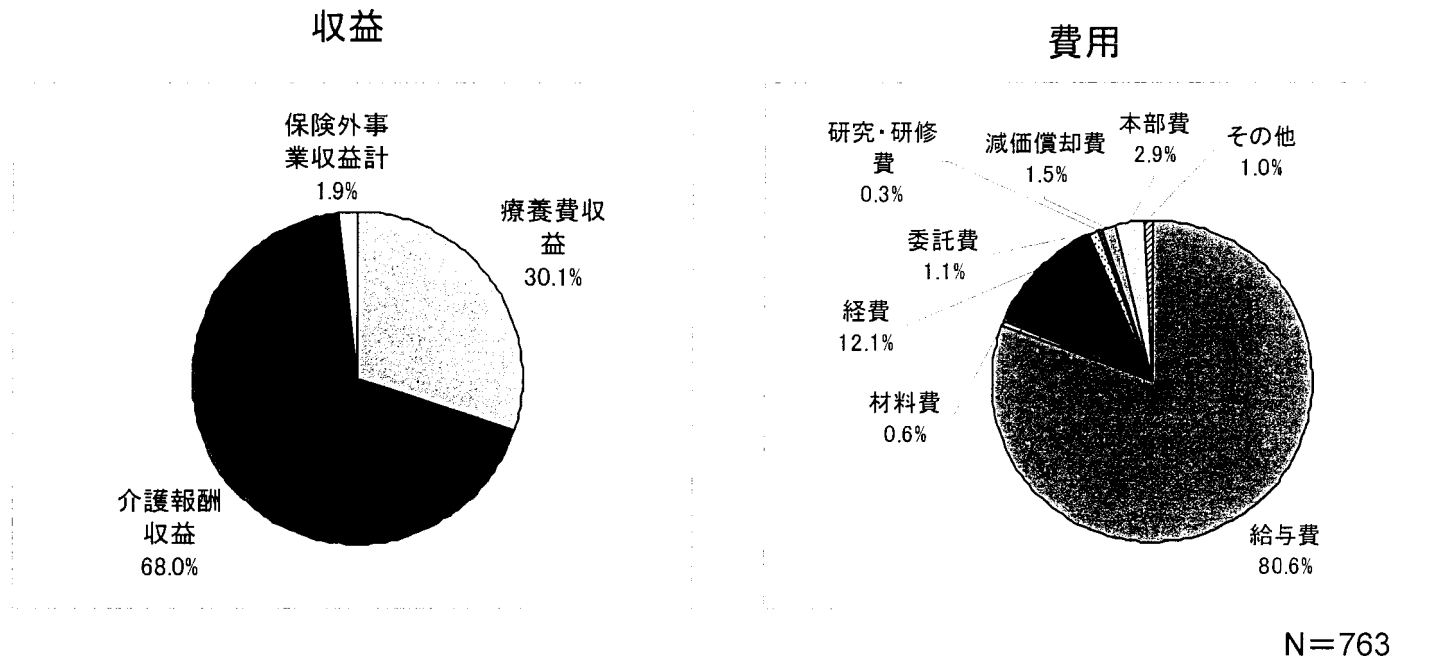
- 訪問1回あたり平均滞在時間60.5分のうち、状態観察9分、処置7分、リハビリ等8分、身の回りの世話(入浴、排泄援助、経口摂取援助等)20分、本人への療養指導等8分などとなっている。

出典: 全国訪問看護事業協会 平成14年度老人保健健康増進等事業「訪問看護事業所におけるサービス提供の在り方に関する調査研究事業」

1. 訪問看護ステーションの 経営状況について

- ①収支構造
- ②人材確保

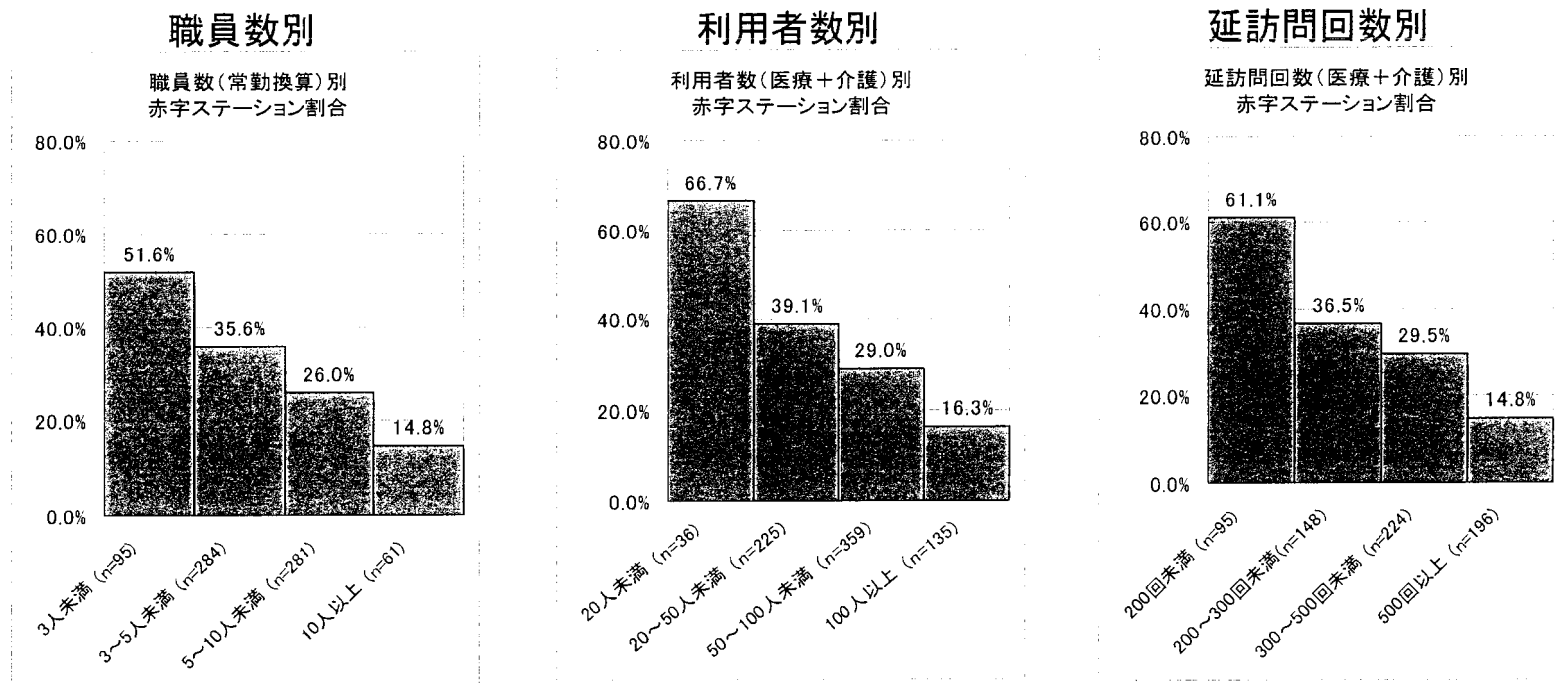
訪問看護ステーションの収益構造



- 収益は、医療保険が3割、介護保険が7割程度を占める。
- 費用は、給与費が80.6%、経費が12.1%と、給与費が8割を占め、費用のほとんどが人件費の業態である。

出典：全国訪問看護事業協会 訪問看護ステーション経営概況緊急調査結果(2007年7月実施)より

訪問看護ステーションの収支(赤字割合)

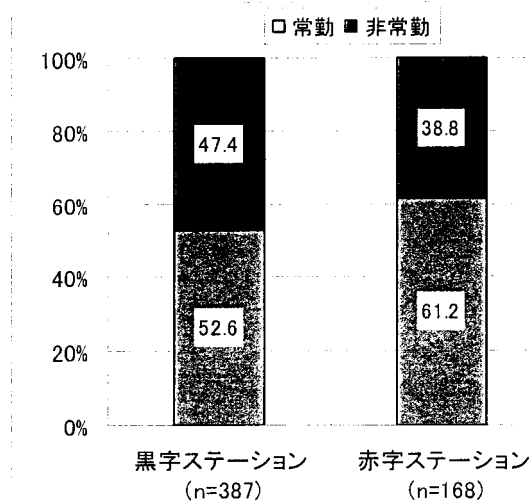


- 事業損益(3月分)が赤字のステーションが全体の31.6%。
- 特に、小規模なステーション(職員数が少ない、利用者数が少ない、延訪問回数が少ない)ほど、赤字の割合が高くなっている。

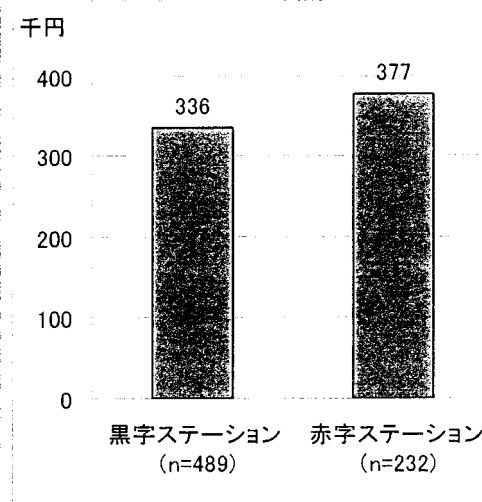
出典: 全国訪問看護事業協会 訪問看護ステーション経営概況緊急調査結果(2007年7月実施)より

黒字事業所における経営努力

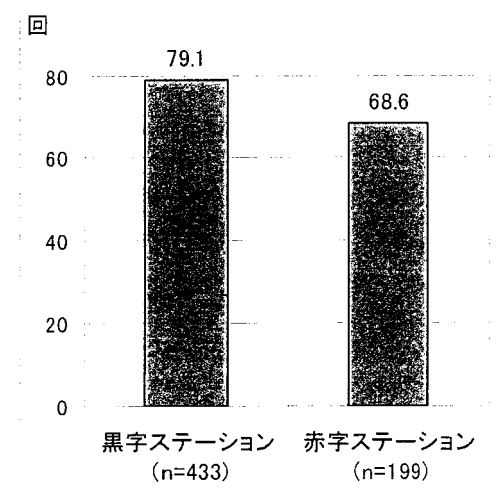
常勤職員の割合



職員1人あたり給与費
(賞与、法定福利費、退職給与引当金等除く)



職員1人1ヶ月あたりの
訪問回数(常勤換算)

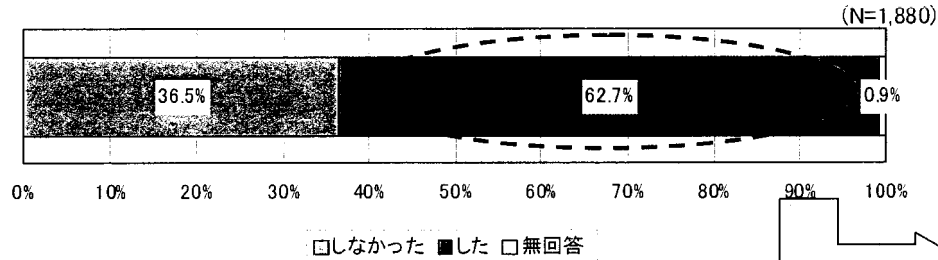


- 黒字の事業所は、非常勤職員を多く雇用し、職員1人あたり給与費を下げ、職員1人あたり訪問回数を多くして、収支を黒字にしている状況がみられる。
- しかしながら、サービスの質の確保、人材確保のためには、本来、常勤職員率をあげ、適正な給与を支払うことが重要。

出典: 全国訪問看護事業協会 訪問看護ステーション経営概況緊急調査結果(2007年7月実施)より

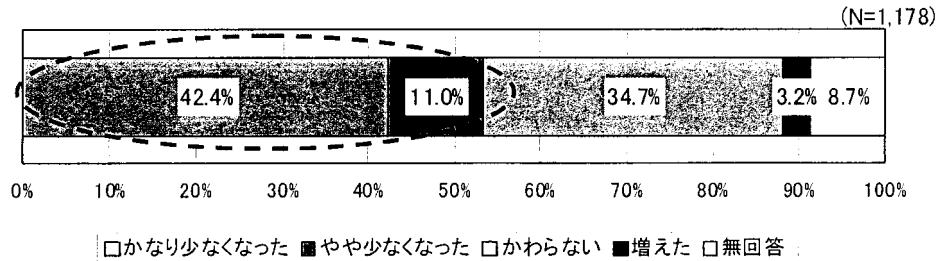
訪問看護ステーションの人材不足の状況

半年間(H18.4~9)の求人募集の有無



- 求人募集をしたステーションが6割。
- うち、求人募集しても、採用できなかったところが35.1%。

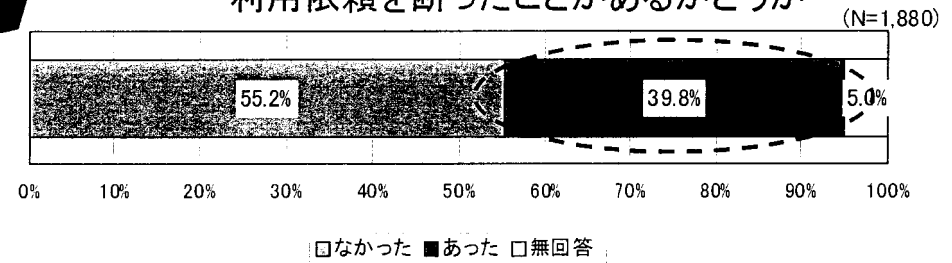
半年間(H18.4~9)に求人募集した反応
(求人募集をしたステーションのみの回答)



- 半年間に求人募集をしたステーションの過半数がこれまでに比べて「少なくなった」と回答。

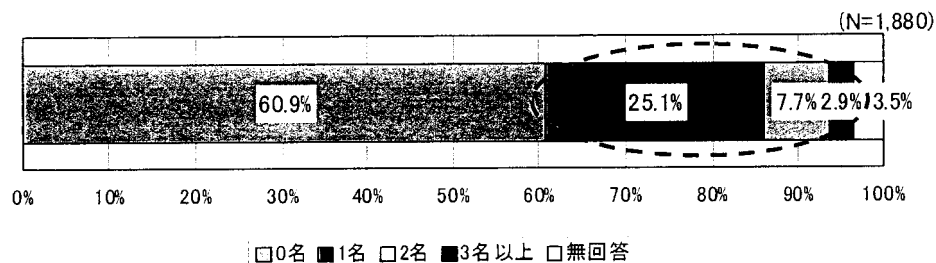
- 人材不足の結果、約4割のステーションが訪問看護の利用を断っている。

半年間に、人材不足により訪問看護の利用依頼を断ったことがあるかどうか

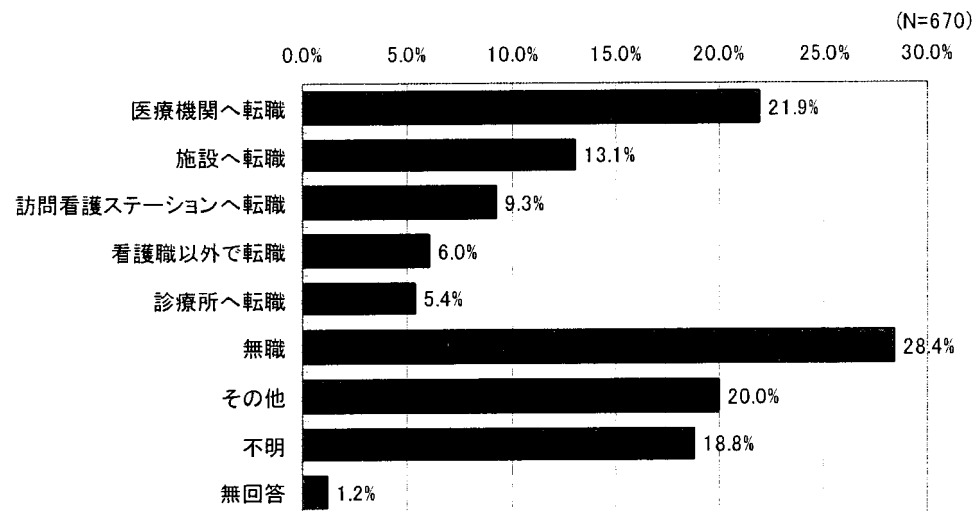


離職の状況

半年間(H18.4~9)の退職者数



退職者の転職先



- 半年間に退職者がいたステーションは4割。
- 退職者の転職先は、「医療機関」「施設」の順に多い。「その他」としては、「同法人内病院への異動」「居宅介護支援事業所へ異動」など。